

市議団速報

e-mail:info@jcp-niigata-shigidan.com NO.113

2015年9月20日
日本共産党
新潟市議会議員団
電話 025-226-3450
FAX 025-223-7748

9月議会報告(一般質問その2)

日本共産党の五十嵐完二、飯塚孝子の両市議は、16日、開会中の新潟市議会で一般質問を行いました。その一部を紹介します。



ピーススタンディング中の五十嵐議員

五十嵐完二市議は、BRTの混乱と今後のあり方、「地方創生」等について質問。その大要を紹介します。

BRTスタートから トラブル続出

昨年十一月の新潟市長選挙の争点となり、現市長が進めるBRT計画(連節バスを使った新バスシステム)が、9月5日にスタートしたものの、料金精算システムの不具合から混乱し、不具合が是正されたあとも、定時性が確保されず通勤や通学に支障をきたしていることや、新たに発生した乗り換えに市民の不满が高まっています。

住民投票では是非を問うべき

五十嵐市議は、「連節バスの活用は乗降に時間がかかり定時性が確保されない」「新たな乗り換え発生で市民のバス(公共交通)離れがすすむ」と指摘し、この計画の是非を住民投票を実施して市民の判断を仰ぐことを求めました。

篠田昭市長は、「BRT・新バスシステムの円滑な運用に向け、可能な限りの改善策を施していく」等との答弁に終始しました。

市長は責任をどうとるのか

また、今回の混乱で、新潟交通社長が謝罪会見をおこなった。その報道で「新潟交通社長 辞意示唆」との報道もあり、「市民の反対に耳を貸さずBRT計画を進めてきた中心である篠田市長は責任をどうとるつもりか」と迫りました。

非正規社員の正社員化を 後押しする取り組みを

一方、国の「地方創生」を受け、この一〇月までに策定しようとしている「新潟市まち・ひと・しごと創生総合戦略」(地方版総合戦略)について、市が高校生や大学生など約一万人に実施したアンケート結果は、「結婚支援」も「子どもの数が増えるための支援」でもトップは「安定した雇用の確保」であることから、東京都の取り組みなどを参考に非正規社員を正社員とする取り組みを盛り込むべきと求めました。

これに対して、市は「検討していく」と答弁しました。



ピーススタンディング中の飯塚議員

飯塚孝子市議は、子どもの貧困支援策として就学援助制度の拡充や、新潟市の非正規職員の待遇改善などについて質問しました。

中学入学時の学用品費の 早期支給を(就学援助)

就学援助制度の拡充では、中学入学時の新入学生徒学用品

費の支給は8月で、入学前の必要時に支給されず実効あるものになっていないと指摘し、3月に活用できる仮認定制度を導入し早期支給すべきだと提案しました。

教育長は「入学に際しての経済負担の軽減がはかれるよう、小学校6年生に繰り上げての早期支給が可能かどうか検討していく」と答弁しました。

生活保護ケースワーカー は正規職として確保を

生活保護のケースワーカーは任期付福祉職採用が続いています。担当世帯数、超勤時間は正規職と大差ない実態であり、正規職として確保すべきと提案しました。

総務部長は「生活保護世帯は増加傾向にあり、今後は可能な限り、正規職員の配置に努めていく」と答弁しました。

また、飯塚議員は、保育士などの常勤職と同等の職務実態にある非常勤職員は、昨年7月の総務省通知にもとづいて、期末手当や退職金を支給すべきだと市に迫りました。

